



春宵上方落語繁盛図 ②

ミニ寄席

兵庫柳原《柳笑亭》

国鉄兵庫駅
東へ500米
柳原バス停前

不景気やて!?

笑うてもらいまひよ。

柳笑亭1月公演と3日月会より相勤まするは、左上は「親子酒」の桂文珍／右上は「野崎詣り」の桂春団治／下左は「稲荷車」の橘家円三／下右は「代書屋」の笑福亭松枝のみなさん。



柳笑亭のファンはなぜか美人が多いのだ。〈ソラ、ワテラ男前がハリキッテマッサカイ〉

若手落語家

「いらつしやい／いらつしやい／エー木戸銭は
三〇〇円、後十五分で開演でつせえ」

ここは兵庫の柳原、上方落語を守るミニ寄席
〈柳笑亭〉の木戸口。我さんへお詣りの通り客
に声を張りあげる。常席は毎月十一日・十五日
（木戸五〇〇円）の五日間、三日が中堅落語家
の自主公演「三日月会」（木戸三〇〇円）九日
はかけ出しの「つばす会」（木戸百円）という
興行ぶり。

満席60人というミニ小屋に出演する落語家が
木戸の呼び込み、ほどなく三十人程で開幕すれ
ば、師匠はウラで太鼓をたたきテープを回し、
「エエ、おめでとうございます」と話が始まる。

客席は、常連の中学生や、ファッションフルな
若いお嬢さん、サラリーマンや、落語好きのお
っちゃんやおばはん達というとりどり。落語を
聞こうというお客さんばかりだから語る方も熱
が入り、客もどっと来る。ぜいたくきわまりな
い客席なのだ。それでも税務署のおっさん二人
が客数をジロリ。もうかるはずアラヘン柳笑亭
の笑いにみちた心暖たかな正月の夜が更ける。

〈注／くわしくは本文43頁・46頁のルポ読物で
ごゆっくりどうぞ〉



ミニ寄席「柳笑亭」は60席で満席。桂春団治師匠のトリの熱演、オモロオマッセ！ あんさんも一べん笑いにおいんなはれ。常席は毎月

ヨーロッパ 味の旅



▲オペラ通り、東京銀行パリ支店附近よりオペラ座を眺める

料理のメッカ パリへ

1974年12月30日。17時間におよぶジャンボジェット機の旅を終えて料理のメッカ、パリに降り立った。

街並みは整然としたなかにも格調の高さと伝統を誇り近世世界文化中心の面影を保つのに、パリっ子達がいかに大きな努力をしているかがありありとうかがえる。

料理とサービスに全霊をうちこんでいる小さな私の店が、両面においていかにほどの水準にあるか、さらに本来のフランス料理のあり方を研修し、将来の経営に資するのがこの旅の目的である。一生の仕事として考える時、思わず身のひきしまるのを禁じえない。マキシム、フォーケ、パリの市場、カフェテリア等順を追って何回かに分け、感じたことをのべていきたいと思う。 <岩田正崇>



ビーフステーキの店

HOOK
フック 東店

午前11時～午後9時30分まで
日曜・祝祭日は正午～9時30分
神戸市生田区栄町1-5-3
TEL (078) 321-3207～8

さわやかな ぶどうの香り

センハイマー・ローゼンハング(白)

¥ 2,000

ドイツ、ピロート社より直輸入しているモーゼルワインです。少し酸味が強いですが、さっぱりとしていてさわやかなぶどうの香りがステーキの味をより一層ひき立ててくれるでしょう。

鉄板焼肉用タレ好評発売中!

ごまだれ・しゃぶしゃぶのたれ各380円



取扱店

デリカテッセン
(トアロード)
京阪神大丸・そ
ごう・阪急各食
料品売場
有名肉店
塚口・夙川各
かりスーパーマ
ーケット

ステーキハウス

おんが亭®

生田区下山手通 2丁目34(トアロード)

☎ 331・7168

月曜日休み



白いピアノにつどう……あなたとあなたと。そしてバニガールのピアノバー。
あなたの新しい夜の歴史を演出する。そこが《PUB》ロイヤルなのです。

PUB ROYAL

〈三宮店〉

〈月～金〉17:00～1:00 〈土〉17:00～2:00 〈日〉17:00～24:00
阪急三宮駅西口前、レインボープラザビル 6F 078(332)1251

●チェーン店

パブロイヤル〈梅田店〉 梅田花月劇場前 ヴェスタビル3F

TEL 06 (312) 1521

パブロイヤル〈堺東店〉 堺東・土居川公園前(民芸すし半となり)

TEL 0722 (22) 3041

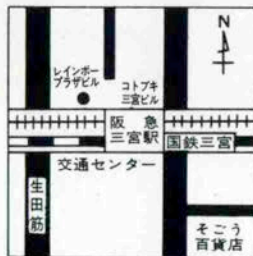
パブロイヤル〈千日前店〉 千日前。元大劇北となり、パレ達阪ビル3F

TEL 06 (643) 5358

DAIWA JITSUGYO CHAIN

●パブロイヤル姉妹店

PUB ROYAL 北新地店・桜橋店・千鳥橋店(大阪)



- 500円の明細会計(各種クレジット加盟店)
- ハンバーグ ¥500 ●カニコロッケ ¥500
- チキンバスケット ¥500
- 水刺(オールド) ¥500 ●ビール ¥500
- ブランデー(V.S.O.P.) ¥500
- 気分よく楽しめるキーボトルシステム
- サントリー・オールド ¥6,000
- サントリー・リザーブ ¥6,000
- ヘイグ ¥6,000
- カナディアンクラブ ¥6,000
- ユニークで簡単な会員システム
- 《会員資格》男性25才以上 女性20才以上
- 《年間ライセンス料》男性3,000円女性1,000円
- 年間ライセンス料をお納めいただくだけで正会員。ご来店の際のVIPチャージ(¥500)が無料になり、チェーン店にもメンバーとしてご利用いただけます。



六甲の出会い 7



drink and snack
恵一子の店 ドン・ファン

Don Juan

神戸市灘区山田町3丁目1の15 TEL 821-6426

阪急六甲山側 姫路信用金庫地下1F

営業時間 11:30A.M. ~ 1:00A.M.迄

ドン・ファンのスペイン風な雰囲気を楽しむ六甲
住人のゆたかな洋酒を楽しむひととき。

左より二人目 簡牛千秋さん(日本チバ・ガイギ(株))中川時雄(神戸外大助教授)夫妻

Menu ●Tea time

(正午より午後5時)

コーヒー・紅茶……………	300円
カレーライス(コーヒ付)…	600円
スパゲティ・ピラフ…………	500円
アイスクリーム……………	300円

●Drink time

(午後5時30分~午前1時)

ウイスキー水割……………	600円
ブランディV.S.O.P	1500円

その他ドン・ファン特製の
軽食メニューがあります。



美味しいたべもの 香り高い銘酒 静かな対話 暖たかい
くつろぎ 新しいシステム 安心でざる料金 そして一番
大切なものは あふれる誠意です。

●キャンティ北店の午後にはK.F.C.(コウベファッションクリエイターズ)の皆さんが小部屋でミーティング。

★キャンティ北店メニュー

●ランチタイム ¥60
0 ●キャンティライス
(サラダ・コーヒ付)
¥900 ●仔牛チーズ焼

¥900 ●テールスープ
(チーズトースト・
ワイン付) ¥900 ●コ
ーヒ・紅茶 ¥300

小集会・パーティ
はご予算に合わせて
ご利用下さい。

予 約 制 ティーパーティ ¥ 600 以
(50名様迄) ディナー・パーティ ¥2,000 以
上 331-2 1 2 2・331-3 6 6 1
担 当 飯 尾 ・ 萩 原



Chianti 榎 晴夫

本店 神戸市生田区北長狭通 2 | 3 <年中無休>
TEL 078(391)3060

北店 神戸市生田区下山手通 3 丁目 8-9 <月休日>
ティ ー タイム AM11:00~PM6:00 TEL331-2122
ド リ ン ク タイム PM 6:00~AM1:00 TEL331-3661

●キャンティ地図



海外商品を直輸入で免税店のムードと価格でお気軽に。



ただ今！会員募集中

ワールドセレクトション

ファーストクラス

パリ・ロンドン・ニューヨーク・香港など世界の有名ブランドを流通マージンのカットによる直輸入で直接あなたにおとどけるセイホクシンの会員制販売をご利用ください。

セイホクシン

メンバーズ
サロン

ワールドセレクトション
ファーストクラス

神戸市生田区北長狭通4丁目15西北神ビル
電話(078)331-3011

〈元町駅山側〉

西北神株式会社

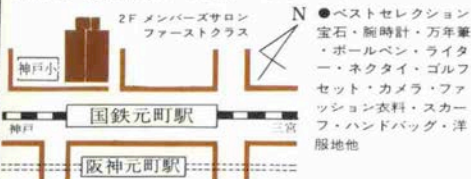
神戸市生田区北長狭通4丁目15西北神ビル10階
電話(078)331-8021



■会員のお申込みは

個人正会員（1名記名式）1万円（有効2年間）
会員の方は、海外有名商品を、海外価格（輸入諸
チャージをふくむ）でお求めになれます。

また、メンバーズサロン・ファーストクラスの商品
即売、商品相談をご利用いただけます。



●チョコレート

モロゾフ

いつのころからか
バレンタインズデイ
にチョコレートを贈
るようになったのは
……。あなたの告白
をひそかに待ってい
る彼へ、チョコレ
ートに愛をこめて。直
接、手渡すのがは
ずかしい方は、切手
はってそのままポ
ストへという便利
なものもありますよ。



東灘区御影本町6丁目11番19号
☎051・15594

サントス

●元町の憩いの場 喫茶茶

元町1番街 ☎331・1079

れんが道がうれしい元町通を歩いていると、小鳥が
ピピッとさえずっています。そんな、恋人とおしには
とてもうれしい演出をしてくれるのが、サントスなん
です。港から二人して散歩してこまでくると、珈琲
の香りにつつまれる……。神戸の街って素敵だわ。



●ピッツアハウス

ピノッキオ

生田区中山手二一〇一
☎331・3545

今夜のデートコースを考えましょう。元町駅で彼と待
ちあわせ、トアロードを歩き、NHKの前のピノッキオ
へ。神戸ビーフと魚がたっぷりの「神戸っ子」（もちろ
んピノッキオオリジナル）を食べながら、これもピノッ
キオ特製サドヤワインを飲んで、魅惑の夜を過ごします。



●世界の服地

シンワ

センター街店
さんちか店 ☎391331・3098
☎5254



この日はいつもよ
り美しい私でいたい。
そんな気持ちは女の
コならわかるでしょ
う。世界の服地が、
どこよりも安く、そ
の上いい品ばかりと
いうシンワで、おめ
かしして出かけた
バラの花がきれいに
咲いたプリントのワ
ンピースなんていい
んじゃないかな？

♥なぜ二月十四日なんだろう……？
 ヨーロッパでは古くから、この日から小鳥が発情する
 といわれて愛の告白日となり三世紀ごろ皇帝クラウディ
 ウスの圧迫によって殉教死した聖バレンタインの記念日
 と結びついたものという。はじめは親子が愛の教訓と感
 謝を書きしるしたノートを交換しあう習慣だったが二〇
 世紀になってから男女の愛の告白日となり、とくに女性
 が男性に愛を告白する唯一の日とされるようになった。



この日は わたしと…

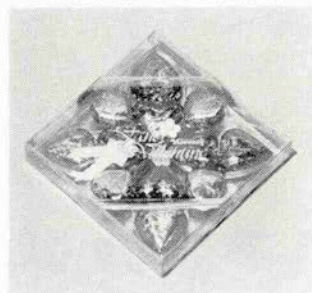
St. Valentine's day in KOBE

そっとあたためてきたあなたの心を

今日こそは彼に伝えましょう。

♥スマイルの葉に
 愛の言葉を
 二月十四日のセント・
 バレンタインズ・デーは
 愛し合っている人たちが
 互いにプレゼントを贈る
 日です。
 花としては、真っ赤な
 バラや、セント・バレン
 タインが牢獄からスマイル
 の葉に愛のことばを書いて
 愛する人に贈ったとい
 ういわれにちなんで、ス
 ミレの花がおもに使われ
 ています。親しい好きな
 方にハート型を美しくボ
 イントに使ったアレンジ
 メントをプレゼントして
 はいかがでしょうか。

♥プレゼントのお知らせ



彼、これを食べたらとてもロマンチックになるんです
 て……。贈ったら勝よノミルク、スイート、コーヒー
 etc 純チョコレートがハートの型で。モロゾフよりファ
 ンシーバレンタインを20名様にプレゼント。住所、氏名、
 年令、職業をご明記の上、〒650神戸市生田区東町113の
 1大神ビル7F月刊神戸っ子プレゼント係までお葉書で
 お申し込み下さい。〆切は2月20日です。

I LOVE YOU

♥チョコレートを
 贈りましょう
 これはきつとチョコレ
 ートメーカーがつくった
 お話なんじゃないかとの
 噂がヒンパンですが、で
 もニッポンではバレンタ
 インデーに、女のコから
 チョコレートを贈ること
 になっっているんだからさ
 からわずにそうしまし
 う。
 神戸では、ヤングはも
 ちろんだけど、ミセスが
 とっても美しいんだな。
 そんな、すてきな奥さま
 が赤いハートのケースに
 入ったチョコをダンナ様
 にプレゼントをする。そ
 んな街ですよね。神戸っ
 て。

お子様の幸福を願って……

三月ひな人形

名匠作逸品が
豊富に品揃い



カメヤ

三宮方面でのお買物は…

さんちか店 ファミリータウン 391-4045

三宮店 市街地改造のため仮店舗にて営業中

元町方面でのお買物は…

元町店 元町通3丁目山側 331-0090

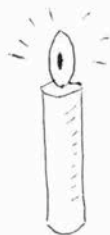
パンブウ店 元町通1丁目不二家前 391-0768

神戸駅前方面でのお買物は…

サンコウペ店 神戸駅前地下街 351-6002

世界最高の品質を
誇るアラガワの支店

赤いチェックのテーブルが
ピッツアの香りを
ひきたてます



レストラン

砂時計

正午 ~ 夜1時
日曜は夜9時まで
月曜定休

生田区山本通1丁目35
東洋ハイツ1階

TEL 241-1857

■ GODDAG KOBE、〈2〉

森と湖の国からコンニチワ

スベンスクと

神戸

ミセス・ヨハンソン

〈デンマーク領事ビー・エフ・ヨハンソン氏夫人〉
をたづねて――



神戸には六十カ国の人たちが生活をしている。街角で世界各国の人たちが様々な言葉で挨拶を交わし、ことあるごとにそれぞれのお国ぶりのアレコレを披露してくれる。彼らのなかには商用などで短期間だけ神戸に滞在する人たちも多い。が、すっかり神戸にとけ込み、神戸っ子の一員となっしまった人たちが、神戸を愛し、神戸での生活を楽しむわが「エトランゼ神戸っ子」も多いのだ。そんな彼らの生活ぶりを紹介することにしよう。

今月はスウェーデン人を訪ねることとなり、デンマーク領事ビー・エフ・ヨハンソン (B. F. Johansson) さんのお宅にお邪魔をした。国鉄摂津本山駅から車で五、六分。半世紀以上も前に建てられ、赤ペンキで縁取りされた家は夕暮れのなかでとても満酒を感じた。この日、ミスター・ヨハンソンは商用でジャカルタへ出掛けてお留守なのでミセス・ヨハンソン (Ragnhild Johansson) からお話をうかがうこととなった。



ミセス・ヨハンソンはスウェーデンの Marstrand 生まれ。この町は香港島のように本土と島とをフェリーで結び、ヨットセンターとして夏場は大いに賑わうところだそう。一九五八年一月六日、デンマーク領事として赴任するミスター・ヨハンソンと共に来神。その二週間前に結婚したそうで、以後十七年間ズツと神戸に住んでいる。スウェーデンへは夏場にしか帰らない。冬は暗い。何しろ十月から四月までは午後四時ともなると真暗なのだ。

日本語はかなりしゃべれるが、読むことはサッパリ駄目ですということだ。

スウェーデン人のヨハンソンさんがデンマーク領事を務めていることが不思議で尋ねると、何でも、ヨハンソンさんの住んでいる地域はスウェーデンの南の方でデンマーク領と隣接し、言葉もデンマーク訛り、さらに、ノルウェー、デンマークへはフリーパスで行き来ができ、日本人の感覚からいうと隣の県へ行くような感じで、そ

れは少しも不思議ではないらしい。

クリスマス飾りつけがそのままにしてある部屋では暖炉のなかで三田から取り寄せた太い薪が赤々と燃えている。窓ぎわのクリスマスツリーをみながら、アメリカなんかのツリーとは違うでしょうとおっしゃるような、華やかさはないが素朴な感じがある。

「スウェーデンでも他のファミリーはどうか分かりませんがマイファミリーでは、一つ一つの飾りをハンドメイドでつくります。小銭入れのようになった飾りものは中にビーナッツなどを入れたりする。ほのほのとした暖かさがある。

どうぞとすすめてくれるコーヒーとクッキー。コーヒーポットは銅製でこれもクリスマス用。クッキーはシナ



写真上／昨年12月13日神戸外人倶楽部で行われたロシア祭から。
ロシア姫をはじめ可愛い子供たちを中心に参加者の誰もかれもが手を取りあって、会場から舞台へと踊りの輪を繰り広げるときフェスタは最高潮になる。この日、コーラスを披露した神戸土曜合唱団は6月にスウェーデンへ行くことになっている。
写真左／2年連続ロシア姫に選ばれたカリンちゃん。



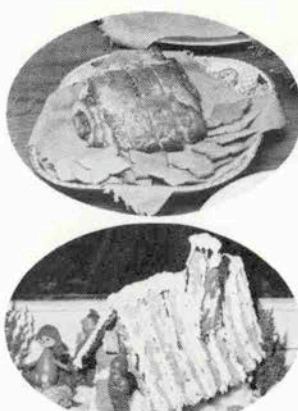
モンロールとジンジャークッキー。すべてホームメイド。まだあった。ツリーの傍に飾っている可愛い家で、これはクッキーハウス。クリスマスが終わったら食べます。もったいないですね。みなさん、窓とか煙突とか好きなところを食べますね。帰りしなに窓枠をひょいと擱んでムシヤムシヤと、これはミセス・ヨハンソン。固いですよ。

日本ではどこが一番好きですか？ もちろん神戸です神戸のどんなところが好きですか？ 横から長男のベル(Pete)君がかわって答える。「山があって、海があってそれにはさまれて、気軽にどこへも行けて、何より木が沢山ありますね。それとひとがやさしいです」

ベル君は十五歳のカナディアンアカデミーの学生。映画が好きでよく見に行く。将来はアメリカの大学で生態学を勉強したいという科学者の卵君だ。スウェーデンへは帰らずアメリカ女性と結婚したいらしい。

神戸にはスウェーデン人は五、六ファミリーしかいない。さびしくないですか？ さびしがっている人もいますが私はさびしくありません。スウェーデン人以外にも外国の人とつき合っていますし、日本の友だちも多勢いますから。

週に一回はカナディアンアカデミーへ図書の整理などを手伝いに行く。他の日は暇なのですか？ ノウ、とても忙しいです。フリータイム忙しいです。とおっしゃる。観光案内の役目があるのだ。直接面識のない人、たとえば友だちの友だちのまた友だちから案内して下さいと電話がかかってくる。京都、奈良のガイドなら任しておいて下さいという位よくご存知らしい。京都の〇〇寺とか……とおっしゃるが、その〇〇が分らない。ハア？ と聞き返すとニコニコ笑って、お寺の名前で分らないときは私に聞いて下さい。



写真上／シナモンロールとハート形や星形の可愛いジンジャークッキー
写真下／これがクッキーハウスです
写真右／ミセス・ヨハンソン、ベル君、カリンちゃん。ツリーの前で

私はこれが好きですと、自然の樹をそのまま使った花活けや屏風をみせて頂く。この家は以前、一九二〇年頃に上海から来たデンマーク人が使っていたので、何となく中国風のテーブルと椅子もある。その頃からの手伝いさんが今も働いている七十四歳の日本人のお婆さん「オバ」「オバ」と呼ばれている。長女のカリン(Karin)さんはこの「オバ」あちゃんから日本語を教わったそうだ。

北欧の人たちは年に一度集ってスカンディナビアンパーティーを開く。これが大体十一月で各国の人たちが集まる。クリスマスは各ファミリーで祝う。パーティーへはよく行かれますか？ あまり行かないです。家が一番ですね。十二月にはスウェーデンのフェスタ、ルシア祭

がある。毎年十三日に本国はもちろん世界各地で祝う。ここで少しルシア祭に触れておこう。

伝説によるとBC四百年頃、シシリー島シラクユースにルシアという名の美少女がいた。金髪でその目はとても美しかった。このルシアを異教徒の盲目の美青年が熱愛し、ルシアは神に自らの目を盲目の恋人に捧げたいと祈る。神はルシアのこの美しい心に打たれ、ルシアにさらに美しい目を給った。ルシアはその後殉教徒となり、その命日が十二月十三日なのである。と同時に、この日は北欧では一年中で最も夜の長い日と考えられていて、この日が過ぎると昼が少しずつ長くなり、北欧の人にとってはとても待ち遠しい日ともなっている。

そのルシアの伝説とラテン語で「光」を意味するルシアが結びついて今から百五十年ほど前からスウェーデンでルシア祭が始められた。

この日、一般から選ばれたルシア姫は純白のローブをまとい、朝の五時からお供をしたがえて、王宮の衛兵、子供病院を訪れ、おもちゃや人形をプレゼントし、老人ホームではルシアの歌をうたう。午後からはストックホルム市内をパレードし、戴冠式では七本のロウソクを頂いた王冠が授与される。この王冠は「ミルテンフランス」といい、その白い花はビーナスの神木といわれるふともも科の常緑樹でつくられる。この王冠の授与は毎年ノーベル文学賞の授賞者の手で行われる。一九六八年は故川端康成氏が金髪碧眼のルシア姫に王冠を贈った。ルシア姫はそれぞれのオフィス、工場、学校、諸団体、そして各家庭からも生まれ、数万のルシア姫が祭を盛り上げるのである。こうして真夜中の一時や二時まで賑わう。また祭のバッジや女王のブロマイドも売られ、その売り上げは社会事業へ寄付される。美しいルシア姫と暖かい善意の心が一緒になったフェスタ——それがルシア祭だ。

このルシア祭は神戸でも一五年前から行われ(途中、大阪で開催)、一九七三、四年のルシア娘がカリンさん

なのだ。カナディアン在学で十三歳。この日もバスケットボールの練習で遅くなって帰宅。「オバ」仕込みの日本語は日本人なみというのにととう一言もしゃべってくれなかった。丁度、恥しい年頃ですからとミセス・ヨハンソン。

◇

日本とスウェーデンとの友好に貢献しているのが関西日本スウェーデン協会(事務局 神戸市生田区浪花町27 興銀ビル 電話三九一七二五二) 同協会は、関西在住スウェーデン人とスウェーデン人を愛し、興味と関心をもつ個人、団体で結成され、創立十五年を迎えた。会員は五百名を越えている。主な事業としては、会誌の発行スウェーデンの経済、社会、文化紹介の講演会、展示会の開催などを行ない、資料室もおかれている。会員は団体、個人、終身に分かれ、それぞれ年会費二万円、二千円、三万円となっている。

◇

事務局長は松本楯雄さん(ガデリウス株式会社勤務)「英文毎日」時代から諸外国と日本との文化交流に尽力してこられたが、関西日本スウェーデン協会のきりもりに多忙な毎日である。松本さんは、

スウェーデンはフリーセックスの国だといわれポルノ雑誌、フィルムなどが氾濫しているように考えられているが、あれは金もうけのためですよ。それにセックスについての考えが日本と大いに違う。結婚する前のセックスは当たり前で、たとえ結婚に到らず別れてもお互い傷つくことはないですね。

と日本人にしばしば見られるスウェーデン観の誤りをまず指摘。反面、船のスクリーンを考案したのはスウェーデン人であり、また、現在改築中の奈良大仏殿に使われている作業用エレベーターはスウェーデン製であるというようなことは余り知られていない。一国の真の姿を理解することは困難ではあるが、スウェーデンのように一部のみが肥大して認識(誤認?)されていることは両

国民にとって不幸なことだろう。

◇

松本さんから伺った神戸とスウェーデンとの古いエピソードにこんな話がある。

浦和に黒船が来た五年のちのこと。ガデリウス商会(現ガデリウス㈱)の副社長ハーマン・マルティメル・トロチツピが長崎のグラバール商会で働いていたとき、井上馨と伊藤博文が欧州へ留学したいということでイギリス船に乗せるなど世話をしたことがあった。その後、伊藤博文は初代兵庫県知事として神戸へ赴任して来たがそのとき、トロチツピは神戸の居留地の警察署長として外国人の代表者となっていた。彼に恩義のある博文は、スウェーデン人の彼を大事にしたという。

◇

スウェーデン人の主食はポテト。ミートボールやソーセージ、ニシンなども多くの家庭の食卓を賑わす。またこれらに野菜などを加えて大テーブルのせ好みのものをとる方式——スメルゴスボードは日本ではバイキング料理として親しまれている。スメルゴースは、バターつきパンにチーズ、ソーセージ、レバー・ペーストなどをのせたオープンサンドイッチで、スウェーデンでは特に好まれている。日本の焼酎に当たるアクアビットはとても強い酒で冷やして独特のグラスで飲むそうだ。

ヨハンソンさんのお宅でもこれらの料理をつくるが、ミセス・ヨハンソンは、旅行へ行くときには必ずのりと漬けものを持って出るほどの日本食ファンでもある。この頃はステーキが食べられなくなりました、とおっしゃる。余りに高過ぎるのだ。物価高騰の波は在神外国人の日常生活をもおびやかしている。

◇

帰りがけに改めて家の周囲をみると桜の木がたくさんある。春ともなると瀟洒な家と相まってステキな風景となるに違いない。クリスマスツリー同様、ほのぼのとしたものを感じたのである。

ナイロンパンタロンオーデコロンメロンパトロンバ ロンアランドロン結論もちろんゆめのSalon

小さな学校

アカデミー神戸ゆめのSalon

村上喜平 白石弘子

●木彫と型染教室 3月開講

このたび、木彫の村上喜平先生と、神戸では初めての型染の白石弘子先生を東京よりお迎えして、3月より教室を開きます。両先生は芸術的なセンスにあふれる作家として活躍されています。小人数でしっかりした基礎を身につけながら自由な作品を創作する指導法です。

木彫	(月4回)	A M 10時～12時半 P M 2時～4時半 6時～8時半	村上喜平
染色	(月3回)	A M 10時半～P M 4時	白石弘子



●音楽教室ごあんない

発展性のある正しい基礎を、常に楽しみながら身につけ、趣味として、また才能を生かして音楽の道に進みたいと思う人、それぞれの目的に合せて、正しく、美しく弾けるようになっていただきます。

ピアノ エレクトーン	アコースティック ギター	楽器 田舎	多喜子 園江	日一土曜	4,000円以上
---------------	-----------------	----------	-----------	------	----------



- 京都市の学院
- 着物ハル子
- 谷口ハル子
- 和裁生指
- 吉松春潮
- 茶道(寒千寒)
- 中筋洋州
- 華松道(草月流)
- 曾根伸己
- 人根桂子
- 浜野桂子
- アートフラワ
- 鈴木ヒサ
- 刺繍
- 東浦盛之助
- ペン習字
- 東浦盛之助
- 書野原市子
- 小学生の英会話
- 江瀬道保
- 琴
- 広松道雄
- 松原利一
- フル田園人
- 福田園人
- ギタ
- バイオリン
- 大森一

★各種教室
ごあんない

アカデミー神戸ゆめのsalon 教室
神戸市兵庫区熊野町1丁目73(〒652)
TEL (078) 511-8 9 4 3



1975年度のアカデミー神戸ゆめのsalonの発表会は国際会館5階ホール展示室で11月15日(土)16日(日)に行ないます。

●神戸は歴史的都市としての、連続がなく、城下町でもないせいか、寺町というのになかなか行き当たりません。唯一とでもいうのがこの兵庫区の東・西柳原町、門口町、算所町一帯です。

●ところで、この一帯を中心にしてよく地図を眺めてみますと、お寺の並ぶ輪がまず川中町南逆瀬川町、そしてここ一帯と内円があって、もう一つ外側に大開通、水木通、東山町、雪御所町、荒田町、大倉山、下山手通8丁目と外円があることに気がつきます。これは、大輪田の泊、兵庫の津、福原京といった兵庫の港を中心にした歴史的形成の跡ではないかと思われます。

●柳原、門口町一帯の寺町は、いまは寺町と

いう静かな雰囲気は埋もれてしまつて、幹線道路沿の倉庫の町という利用が表に立っていますが、「えべっさん」蛭子神社の日ともなるとかつての兵庫の町との一体感が感じられます。この一帯がギクギクしてしまったのも、一つは戦災と戦後の区画整理のせいでしょう。周囲からおし込められてしまったようにみえる境内には古い墓石の並ぶお墓、そして子供の遊び場に活用されたりしています。

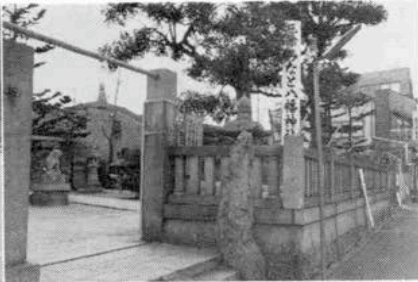
●ここから国鉄線をまたいだところ、兵庫駅北には新しい超高層住宅と勤労市民センターができたわけですが、この歴史ある寺町ゾーンがもっと大事に兵庫の町に対する文化ゾーン、緑のゾーンとして生かされるようでありたいと考えるのですが……。 (水谷顕介)

神戸のアーバンデザイン
《同業者町シリーズ》②

兵庫の寺町

水谷顕介＋チーム・UR

94



右・湊八幡神社
左・えびす神社



右・寺・神社の多い国鉄兵庫駅浜側
中・福厳寺
左・西幸寺

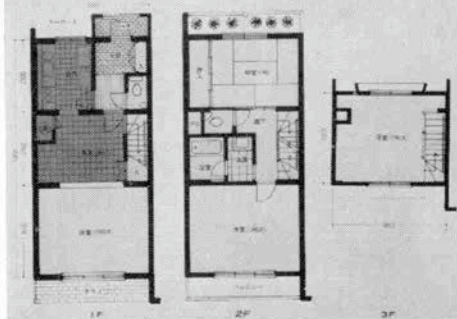


▲南側からみた「山御影ハイテラス」



▲北側正面

▲A型間取り



(協力 ニッケ不動産)

●このすまいも町中ではなく、いわゆる郊外に建っているのですから、タウンハウスとはいいいくわけて、「山御影ハイテラス」と名づけられています。“テラスハウス”という呼び方は、戦後住宅公団がこの連棟式の2階建お庭付を団地に建てたのによく使ってきました。イギリスなどでも使われている呼び方です。

●この6戸のすまいは、御影の山の眺めのいい造成地に並んでいます。4m 65というコンパクトな間口で、海のお庭と前庭のカーポートのスペースを確保して並んでいます。角のお家だけが若干変形タイプです。一階に食堂と台所、たいていは居間に使われるであろう洋室、二階に同じく洋室と和室、そして三階にまた洋室という構成です。高さ10m以内という第一種住宅専用区域の規定のなかで、傾斜のある屋根をかけて屋根裏部屋をとるという設計はこういったタウンハウスの典型的な手法です。間口が4m 65ですから間口方向に二つの部屋はとらないで、一つだけ洋室を畳で10帖大の広さで大きくとっているのを使いやすいだろうと思います。

●間口をコンパクトにして、しかもお庭つきで上から下まで自分の家というこのタイプは部屋が上下に別れて上ったり下ったりの活動がわずらわしい、そして結局、昼は下夜は上と生活が分れてしまって、せっかくの100㎡という広さも半分づつしか使えないじゃないかという意見もあるので、一度このタイプの住い方の実態調査を紹介しなければ、と思っています。

(水谷顕介)

心の中の古本屋

古本屋繁昌(上)

5 あおばしげる

★現在の元町駅付近が「古本屋のメッカ」

今日でも神戸市に古本屋の数はかなりあるが、一昔前に比べると、人口数のふえた割にはふえていない。兵庫県古書籍商協会の調査によると、神戸市内の現在数は百二、三十店でこの数は昭和六、七年から十二、三年へかけての一番の繁昌期と同数である。しかもその内容がかわっていて、古本屋といっても同時に貸本屋を兼ねている店や貸本専門店がかなり含まれている。

この理由はいろいろあるが、要するにテレビの普及や各種レジャーの増加のため戦後は一般に本を読む階層が減少したこと、また、そのため高い本や雑誌を買わずに借りて読む人がふえたことなどが挙げられよう。とはいっても古本への一般の関心が減少したとは思われない。いやある意味では戦前以上に古い珍本や記録文書などを探すファンの数はふえていると思われるが、どうも古書を一種の骨董品視したむきが多いようで、真に自分の勉強の必要上から求める人は減ったと思われる。近年来古書の再版ものがどしどし作られているし、借りてゼロックで写す手があることなどもその理由の一つだろう。

「いや、大正末から昭和十二、三年頃へかけての古本屋街の活況は今日の神戸の古本屋には求められませぬね。思想書、哲学書、外国文芸書を探すインテリや左翼学生、また参考書を買いくる中学生が元町、三宮や上筒井方面の古本屋街には今日と比べものにならぬほどたくさん見られたものです。また、本を売りにくる学生などの客も多かった。売った代金でコーヒーを飲みに行ったり、映画を見にゆく彼らのうしろ姿を今でも思い出し

ますよ」となつかしそうに往時を語るのは、文紀書房(有限会社、元町通六丁目二六)の店主坂本栄一氏である。

そういえば筆者自身も古本屋によく出入りした当時のファンの一人だが、三宮、元町方面の古本屋へは特によく立ち寄ったものだった。関学の学生時代いちばんよく出掛けたが、学校の帰りなどそう多くない金をふところに、それでも古書や古雑誌のみつけものはないかと胸を踊らせながら見て回り、思わぬ収穫のあった日などは家に帰っても感激で寝つかれぬほどだった。昭和初期現在の生田神社のすぐ南側にあった朝倉書店でユージン・オニールの原書「榆の木の下」の欲望(しかも、谷崎潤一郎蔵書の四角朱印まで押してあった)を手に入れた時の喜びや国鉄元町駅前の古本屋街の一軒(名前は忘れたが)で神戸と縁の深い純粋な詩人「三富朽葉詩集」の金装の豪華本をあがなった時の感動を今も昨日のこのように思い出すことができる。書物は男の衣裳とよくいわれるが、その通りだという気がする。ところでこれらの古本屋が最もたくさん集まっていたのは現在の国鉄元町駅付近だった。今はその風景は全然変わってしまったが当時は路上駅の三宮駅が今の元町駅にあって、その西方の鯉川筋西側から阪神電鉄元町駅西口への一帯にかけて十数軒の古本屋が集まっていた。古本屋のメッカの観さえあった。

古本屋はこの辺だけでなく、神戸全市にあったわけだが、なんといっても元町一帯が一番多かった。東から拾ってみると、生田神社周辺には先に書いた朝倉書店、三角市場へ行く通りに長田書店、南に下がって今のセンタ―街と生田神社前の本通りと交叉するあたりにロゴス書

店があった。朝倉書店は美術と文芸の本が多かった。長田書店は大正時代からあった。ロゴスは洋書が多く、店主の前田梅太郎氏は酒豪で早大英文科卒のインテリだったため、客には特に当時の知識階級の連中が多かった。以上の三店とも昭和二十年春の神戸大空襲で焼失したがロゴスは終戦後しばらく元町通三丁目の下あたりでやっていたが、いつかやめてしまった。前田さんのその後は知られていない。支那事変が始まり、日本にはファッショ的ムードがしだいに高まりつつあった頃、ようやく軍



▲古木屋の面影はない現在の国鉄元町駅前



▲現在の元町駅の位置にあった国鉄三宮駅（明治後期）
写真提供 荒尾親成氏

部や警察などから排斥され出した欧米文化の香りを逆に求めて、私などもロゴスによく出かけてたまには洋書を買ったが、欧米の現況を知る唯一の雑誌ともいえる「セルバン」（第一書房刊）のバックナンバーを何冊か買って帰ったことを思い出す。さて、三宮から元町方面へ来ると、大崎書店、谷神港堂、山本書店、高田書店、勉強堂、大石書店、杉野書店、今井書店、沢田書店、鉢木のオヤジさんは版画が好きで版画関係書が多く、またベルグの主人は山が好きでその名をとって店名にしたらしく、山岳書が多かった。これらの店が空襲で全部焼けたのだから、今から思えば、書籍の文化財をずいぶん多く焼失したものだと思われてならない。

元町の本通りにはじめて古木屋が登場したのは、昭和六年の土井書店である。土井文治氏（すでに九十歳以上）はそれまで勉強堂を経営していたが、そこを売って本通りに進出したわけだ。当時元町には古木屋だけでなくて新本専門店も多かった。著名な川瀬書店（元町通一丁目）はじめ海文堂（大正七年から元町三、海軍関係の本を一手販売）、丸善（大正十二年から居留地で、のち元町一へ、洋書専門）、宝文館（明治十四年から元町五）日東館（宝文館のななめ向い）、福音社（元町三）などがあった。宝文館は学校関係の本が多く、当市内の学校図書の特設店の親があったが、学校帰りの男女の中、小学生が店内にむらがついていた風景を今でもおぼえている市民が多いのではないかと思う。これらの新本店が今も残って営業されていることはご同慶のいたりだが、あの頃多種類の古本を集めていて特に学生やインテリの出入りの多かった古木屋第一号の土井書店と川瀬書店が空襲で焼失したままなのは惜しまれる。もっとも川瀬書店の方は関学付近にある仁川店が今日も営業をつづけているが……。

（四九・十二・一九記）

（後記）この記事作成には主として坂本文紀書房店主にお世話になりました。お礼を申し上げます。